事業番号	02　05　01

事業改善シート（29年度実施事業分）

□当初要求　■当初予算案　□補正予算案　□点検

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
		実施期間	S47 ～	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp

しあわせ信州創造プラン（総合5か年計画）	
プロジェクト	
施策の総合的展開	5－2　快適で暮らしやすいまちづくり 1　公共交通網の確保

1　事業の概要

現状（予算編成時）	○地域交通については、県民の生活の足として重要な役割を担っており、持続可能な交通体系を構築する必要がある一方で、利用者数の減少により乗合バス事業者等の収益の悪化や市町村の財政負担が増加し、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 ○バス・トラック事業者には、小規模事業者が多く、また、経営状況が厳しいこと等から、各業界の協会が中心となり、運輸事業の有効性を高める必要がある。	29年度予算額	578,945 千円
		職員数	3.00 人
目指す姿	○長寿社会の確かな暮らしを支える地域交通の確保 ・広域的・基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。 ・市町村と交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築する。 ○営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全・安心な輸送の確保 （主な実施内容：乗合バス事業者・市町村等の支援、バス協会・トラック協会への助成　など）		

事業コスト

区分（単位：千円）		27年度	28年度	29要求	29予算案
予算額	前年度繰越	0	0		
	当初予算	515,120	574,696	589,115	578,945
	補正予算	0	0		
	合計（A）	515,120	574,696	589,115	578,945
Aの財源	一般財源	507,620	563,708	570,549	560,379
	県債	0	0	0	
	国庫支出金	7,500	7,500	10,750	10,750
	その他	0	3,488	7,816	7,816
決算額（B）		514,476			
概算人件費	職員数（人）	3.00	3.00	3.00	3.00
	概算人件費（C）	24,828	24,828	24,828	24,828
概算事業費（B（A）+C）		539,304	599,524	613,943	603,773

指標及びその達成状況

No	成果指標	27年度末	28年度末（見込）	29年度 目標値	29年度 成果	29年度 達成状況
①	県民一人当たり公共交通機関利用回数	50.4回/人	49.3回/人	49.6回/人		
②	地域間幹線バス路線の系統数	29系統	29系統	29系統		
③	乗合バスへの低床バス導入率	41.0%	52.8%	64.6%		
④	営業用トラックの交通事故件数	275件	275件	275件		

成果指標設定理由	
	①公共交通の利用者数を維持するため、県民一人当たり公共交通機関利用回数を成果指標に設定 ②地域間幹線バス路線を維持するため、路線の系統数を成果指標に設定 ③乗合バス車両のバリアフリー化促進のため、低床バス導入率を成果指標に設定 ④営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果指標に設定

指摘事項等への対応	指摘事項	対応
□ 監査 □ 決算特別委員会 □ 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	
	補助金算定基礎数値等の確定に伴い、運輸事業振興助成事業費を減額 事業内容の精査に伴い、地域交通ベストミックス構築事業費を減額

2　事業を構成する細事業の内容

（単位：千円）

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度　実施内容（予定）	職員数（人）	28年度（当初）	29年度（要求）	29年度（予算案）
1		地域間幹線バス路線確保維持事業費	①地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金 ②地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金 ③県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与	1.25	258,891	268,810	268,810
2		地域交通ベストミックス構築事業費	①市町村が実施する地域交通の見直し等の取組に対する支援 ②市町村等に対する交通アドバイザーの派遣	1.25	4,540	9,040	8,040
3		運輸事業振興助成事業費	長野県バス協会・長野県トラック協会への輸送サービス改善・交通安全対策・環境保全対策等に対する助成金	0.50	311,265	311,265	302,095
			合計	3.00	574,696	589,115	578,945